

大高定時便

高校
大村高
定時制



第72回卒業証書授与式

三月一日(金) 本校セミナーハウス「五教寮」で第七十二回卒業証書授与式を挙行しました。新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い、来賓・保護者・在校生が見守る中、原校長より卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。四年生十一名全員が、思い出の詰まった学び舎を巣立っていききました。

原 昌紀校長からの式辞より
 思えば、4年前、これから始まる高校生活への決意を持って入学した矢先、新型コロナウイルスの影響で臨時休業や定通体育大会の中止など、寂しい思いばかりをさせてしまいました。しかし、そのような状況にありながら、皆さんは目標に向かい、歩み続けました。通常の学習に加え、部活動では、中地区大会や再開された県定通体育大会での奮闘ぶり、もみじ祭や再開された行事では、「コロナ禍の制限された中で、自分たちが学校行事を創っていかう」と後輩達に希望を与えてくれました。この4年間、日々成長していく皆さんの姿を見るのが本当に楽しくしました。



たかもしれません。風雨にさらされた日々もあつただろうと思います。目標を見失い、何れも学校を辞めたいと思つた人もいるでしょう。
 その中で起きた大小様々な波風は皆さんを成長させてきたことでしょうか。嬉しかった事、悲しかった事、楽しかった事、苦しかった事、すべてが高校生活であり、何一つとして無駄なことはありませんでした。高校生活の中で、皆さんは間違いなく成長したのです。

入学式の式辞の中で、二つのことを話しました。「いかなる困難に出会っても挫けることなくその困難を克服することのできる逞しさを養って欲しい」ということと、「時を守り、場を清め、礼を正すこと」を実践して欲しい」ということです。卒業生の皆さん、改めて高校生であった自分を振り返ってみてください。困難にくじけることなくそれを克服できる逞しさを養うことができたか。時を守り、場を清め、礼を正すこと。十一名の皆さんそれぞれに振り返りがあると思います。一つだけ共通していることは、今、この場にいらっしゃる皆さんは、風にも雨にも負けず、きついときも歯を食いしばり走り続け、卒業というゴールにたどり着いた「完走者」であるということです。皆さん自身のこれまでの努力に、心から敬意を表します。

もちろん、完走できたのは、決して自分一人だけの力ではないことを、皆さん自身が、身に染みて感じていると思います。完走を支え、一緒に走り抜けてくださった保護者、地域の方々、先輩、後輩、そして、同級生への感謝を忘れず、いてください。

今、高等学校卒業というゴールにたどり着いた皆さんがいるのは、次の社会へのスタートラインでもあります。明日から自分が選んだ道を、自信をもって堂々と歩くには、自分で考えて判断し、自分の言動に責任をもたなければなりません。その源は心です。人の心は、言葉と行動に表れます。皆さんが、社会で信頼される人、愛される人であってほしいという私の願いをこめて、大切にしてほしい3つの心について話をします。

一つ目に「感謝の心」が謙虚さを生み出します。感謝の心があれば、困難の壁の前で潰れることはありません。困難の壁を開く生きる力です。自分の中に、判断、選択、責任の原理を持って生きること、善悪の判断力、良心の灯火を育ててくだ

さい。
 ・三つ目に「共生の心」。今後、益々国際化、少子高齢化社会が進行します。支え合い、励まし合う共生の心が、困難にあっても生きることを教えてくれます。

そして、この三つの心が一つとなることで「豊かな心」を築いていくのです。皆さんは、これからも多くの人の中で学び、成長し、社会を支えていく人たちです。どんな研究が進み、技術が発達し、人工知能にできることが増えたとしても、人の心に勝ることはない。私は信じています。どうか、3つの心を大切にしてください。(一部抜粋)

校長式辞の後、在校生を代表して生徒会長の中村さん(写真上)が送辞を述べました。「先輩方は、何事も楽しく行事に取り組みました。その姿を見て私たちの学校生活を楽しくより良いものにしていく決意です。卒業は一つの区切りです。これまでの学びや経験はこれからの人生において貴重な財産であり、これからは大いなる可能性と未来が広がっていると思います。どんな困難や挑戦にも立ち向かい自信をもって前進していきましょう。」と饒(はなむけ)の言葉を述べました。



最後に、卒業生代表の相田さん(写真上)が答辞を述べました。
 「在校中に、卒業生代表の相田さん(写真上)が答辞を述べました。在校生に向けて、「4年間は長いように感じられると思いますが、『光陰矢の如し』時間は足早に過ぎ去りますが、様々な活動に挑戦してください。」と激励しました。保護者や教職員への感謝を述べた後、「私たちが頑張って学んだからこそ、私たちは自信を取り戻し立ち直ることができたと思います。これからも辛いことや困難なことに直面すると思いますが、この学校で学んだことを胸に、まっすぐ前を向いて歩いていきたいと思えます。」と力強く宣言し、答辞を結びました。

卒業生へのお祝い

今年度の卒業式にも、大村ロータリークラブ様から卒業記念品を頂きました。また各方面から、お花やお祝いメッセージ・祝電を頂きました。



同窓会入会式

二月二十九日(木)五教寮で同窓会入会式が行われました。今年度は、同窓会会長の松村学様をはじめ、大村高等学校東京同窓会会長 籠原勇三様、東京同窓会事務局 佐東 昇様のご臨席を賜りました。

松村会長(写真上)からは「卒業おめでとう。大村高校同窓生としてとても誇りに思う。これから先、何か困ったことや、小さな悩みでもいから、同窓会を頼って欲しい。」と挨拶がありました。

卒業生を代表して上妻さん(写真下)からは「私たちが勉学と仕事を両立させ、自分を成長させることができたのは、諸先輩方のご支援があったからです。私たちが卒業生、先輩の良き手本となり、母校の名に恥じない生き方をしていきたい。」と決意が述べられました。



各種表彰式

全国定通教育振興会賞	相田晃輔 大平永
長崎県定通教育振興会賞	佐賀里雄治朗
長崎県教育委員会表彰	森智大
ETA賞 (同一職場4年間勤続者)	大平永 川邊琴音 樋渡魁斗 森咲耶 森智大
大村ロータリークラブ賞	相田晃輔
大高同窓会東京賞	上妻優也
高体連卒業生顕彰	樋渡魁斗



二月二十九日(木)に卒業生に対し各種表彰を行いました。表彰内容及び表彰者は表の通りです。表彰内容及び表彰原 昌紀校長から以下のような激励がありました。「受賞者のみなさん、おめでとうございます。四年間、学業と仕事を大変だったと思うが、よく頑張りました。在校生の諸君も、先輩方の頑張った成果を見習って、後に続いて欲しい」と述べられました。

また、大村高校同窓会東京賞では、東京同窓会会長 籠原勇三様のあいさつの後、賞状が手渡されました。地域および同窓会等の暖かいご支援に感謝し、これからも生徒たちは、前向きに頑張っていくことを期待しています。

最後の学校行事

三月十九日(火)今年最後の学校行事である競技大会が行われました。例年とは趣向を変え、大村Jボウルにおいてボウリング大会を開催しました。生徒会が主体となり企画・運営し、団体戦と個人戦が行われました。

ボウリングは初めての生徒や数回しかしたことのない生徒が多かったものの、投げるところに上手になりストライクを出す生徒も続出。

拍手や歓声、そして生徒や先生たちの笑顔が溢れる一夜となりました。

個人の部優勝は2年高山さん、2位は1年戸高さん、3位は3年中村さんでした。団体優勝はCチーム(平田、沖瀬、欽崎、坂田、中村)でした。

なるには講座

三月十八日(月)に進路講演会「なるには講座」を視聴覚室で行いました。講師は安達都医師、河崎事務局長、丹羽部長、本校定時制卒業生の丹羽様、大嶋様、イシカキさん、田中様、大嶋様、卒業生の話の中で、患者様から「お医者様、ありがとうございました。おかげで、今でも仕事をしています。」と、お礼の言葉をいただきました。

この講演会を通して、卒業生がどのような職業に就いているのか、その職業に必要なスキルや知識、そして卒業生としての役割について学びました。



十二月の思い出

クリスマスケーキを作りました

松並町にあるシクル・ボアの甘木様(同窓会副会長)にご指導を受け、生徒全員でクリスマスケーキを作りました。



ボルダリングにチャレンジ



体育の授業でボルダリングに挑戦しました(シーハット大村2Fサブアリーナ)

つぶやき

早いもので、今年度も終わろうとしています。卒業生の言葉ではありませんが、「光陰矢の如し」あつという間の一年でした。

四月、母校に着任するという喜びを最大限に活用し、大村高校定時制の門をくぐったことを思い出します。三十数名の生徒たちと初めて顔を合わせ、新たなエネルギーを受け取りました。生徒達には感謝の気持ちでいっぱいでした。

一年という短い時間でしたが、このつぶやきコーナーは、次の担当者へとバトンタッチします。もしかしたら読んでいただけたい方もおられました。読んでくださった皆様には心よりお礼申し上げます。

これからの主な行事

四月

- 八日(月)入学式
- 九日(火)始業式
- 十日(水)新入生オリエンテーション
- 十一日(木)学級役員任命式
- 十二日(金)部活動調査・防災説明・検尿
- 十五日(月)一年生基礎学力テスト
- 十六日(火)面談短縮・心電図(一年)
- 二十三日(火)眼科検診
- 二十四日(水)歯科検診
- 二日(木)歓迎遠足
- 十四日(火)中間考査
- 二十日(月)育友会総会

五月

(内科・耳鼻科等の日程は後日連絡します)